

## 交換留学帰国報告書

記入月日: 平成 31 年 3 月 13 日

氏 名: 村中 陽香

留学時所属&学年: 国際地域学部 3 年

留学先大学	ナポリ東洋大学
留学先国	イタリア
留学期間	1 学期間
留学開始一終了日	2018 年 9 月 26 日 - 2019 年 2 月 22 日

報告書上での氏名公開について (どちらかに○をつけてください。)

帰国報告書 : 公開を  希望します ・ 希望しません

月例報告書 : 公開を  希望します ・ 希望しません

### 【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

#### 1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

昔から挑戦してみたかったことであり、日本から遠く離れた場所で自立した生活をしてみたかったからです。また、英語や英語以外の言語のスキルを伸ばしたいと考えたからです。

#### 2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

入学してから TOEFL は何度も受けていましたが、本格的に留学の準備を始めたのは留学先が決定してしばらくしてからだったと思います。まずは大学に提出しなければいけない書類の作成をしました。イタリアはビザの取得が大変なので、念入りに事前の準備をし、大阪の大使館で取得しました。ビザ発行のための準備は時間がかかるので、できるだけ早くに始めることをおすすめします。

#### 3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

ヨーロッパの文化に興味があったことと、ファッションや食べ物の面からもイタリアが好きだったため、イタリアに決めました。現地の情報については、インターネットで調べたり、私の前に留学していた友達に聞いたりして集めました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

入学してから留学のために TOEFL を何度も受けました。対策としては、形式に慣れるためにテキストを買って取り組みました。いろいろなものに手を出すのではなく、答えを覚えるくらいまでやってから新しいテキストを買うようにしていました。私たちが TOEFL を受けていた頃に比べて今は参考書が増えてきているので、自分に合うものを選んで勉強すると効率が良いと思います。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

国際課の方からたくさん情報を教えていただき、履修科目を把握したりビザ取得の準備をしたりすることができました。また、イタリアやヨーロッパ圏に留学経験のある友人にアドバイスをもらうことができたのがとても心強かったし、とても助かりました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

履修登録という制度がないのでいつでも誰でも参加できる授業形態ですが、テスト前には必ず予約という形で登録しなければなりません。また、渡航前に開講されると言われていた英語の授業は何一つ無かったので、現地に着いてから現地のイタリア人学生や担当の先生に聞くのがベストだと思います。

## 【留学中: 大学生活や日常生活について】

### A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

とても自由な校風だと感じました。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

ネットは登録するのが面倒くさそうだったので私は利用しませんでしたがあるのはあるらしいです。残りの2つは私の知る限り無かったように思います。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

サークルや部活動には参加していませんでした。周りのイタリア人の友達にもそのような活動をしていた人はいなかったため、活動自体がないのかもしれませんが。

## B. 授業や勉強

### 1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●科目名(担当教員名): Letteratura Angloamericana II (Vincenzo Bavaro)</li> <li>●時間数/週(単位数): 4 時間/週 (8 単位)</li> <li>●クラスの学生数: 約 30 名</li> <li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 1 学期間でかなり多くのアメリカ文学を学びます。週に 2 回授業がありますが、毎時間必ず次の授業の予習をしないと授業について行くことができません。予習の段階で分からない語句を調べて、ある程度話の意味を理解している状態で授業を受けるのが良いと思います。復習では、録音しておいた授業を聞きながら、分からなかったところなどをもう一度勉強していました。課題はほとんど出ませんが、テストは筆記・口頭共に難しかったです。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●科目名(担当教員名): Storia e Istituzioni del Giappone (Lanna Noemi)</li> <li>●時間数/週(単位数): 4 時間/週 (8 単位)</li> <li>●クラスの学生数: 約 50 名</li> <li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 近現代の日本史の授業です。イタリア語での開講だったので、授業のスライドの写真を撮って、ノートに書き写してそれを日本語に翻訳していました。手間はかかりますが、それが予習復習の代わりだったように思います。担当の先生が留学生に対して考慮くださり、本来は筆記試験と口頭試験を受けなければならないところを、留学生はレポート提出にしてくださいました。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●科目名(担当教員名): Italiano A1</li> <li>●時間数/週(単位数): 6 時間/週 (2 ヶ月半)</li> <li>●クラスの学生数: 約 15 名</li> <li>●授業内容・課題(予習・復習の方法等): イタリア語の基礎のコースでした。イタリア語の挨拶や簡単な語句などから始まり、日常生活の会話や様々なシチュエーションにおける店員と客のやりとりなどを勉強しました。かなり短期集中の授業だったのでハードでしたが、クラスの雰囲気がよく、先生もフレンドリーで優しかったので楽しかったです。基本的に毎時間課題がでて、購入した教科書をやるが多かったです。テストは筆記と口頭のどちらもありました。</li> </ul>

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

周りのレベルに追いつけるように、毎回講義を録音し、復習に活かしていました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

日本人留学生の中で英語の授業を履修していたのは私だけだったため、分からないことなどを気軽に聞ける友達がいなかったのは少しつらかったです。しかし、イタリア人の生徒もみんなとても親切なので、分からないところなどを聞くと丁寧に教えてくれました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

先生の講義を聞く形が多かったですが、生徒は積極的に発言するので、生徒の学習意欲やレベルが高いと感じました。私が履修した授業にディスカッションはありませんでした。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

### C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他( )
部屋人数	( 1 )人部屋
寮・アパート名	
家賃に含まれた費用	<input type="checkbox"/> 光熱費 <input type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他( )
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( エアコンのようなものは無く、電気ストーブなどがありました。 )
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) 洗濯機、キッチン、シャワー、トイレ

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

大学の近くに大きな銀行があるのでいつもその銀行を利用していました。スーパーも大学の近くにあり、家の近くにも大きなスーパーがあったので非常に便利でした。日本食レストランは、寿司を初めとする日本料理と中華料理の食べ放題のお店があり、何度か行ったので、お寿司が恋しくなることはそんなになかったです。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地で銀行の開設はしませんでした。銀行のATMでキャッシングできるカードを使って現金を下ろして使っていました。ナポリは現金社会なので街ではほとんど現金を使って生活していました。留学費用は奨学金や貯金を使いました。支出の管理は、使った分だけノートに記帳するようにしていました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

基本的に日用品は近くのスーパーなどで揃えることができるので、最初の1週間分くらいあれば充分だったと思います。部屋で履く用のビーチサンダルはクロックスなどに比べてかさばらないし、活躍しました。また、富士通のパソコンを使用していたのですが、到着後すぐに充電器が電圧の関係で壊れてしまい大変な思いをしたので、あらかじめ確認して海外対応のものを用意していかなければならなかったと思いました。ヨーロッパ内の旅行には、大きめのリュックが役立ちました。食べ物に関しては、日本の味が恋しくなりそうなら、調味料などを持って行くことをおすすめします。ナポリでも買えますが、日本の3倍以上の値段がするので余裕があれば持って行くのが良いと思います。ヨーロッパに留学していた友人からドレッシングを持って行くことを勧められていましたが実際にとても重宝しました。イタリアではサラダなど野菜を生で食べることがほとんどなく、食べるとしてもオリーブオイルとレモンをかけて食べるので、和風のドレッシングなどがあると野菜不足も補えるし日本の味も味わえるので良かったです。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝ユーロ )(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	約 20 万円	食費	約 4 万円
保険代	約 9 万円	家賃	約 22 万円(4 万 5 千円/月)
予防接種・ビザ代	約 1 万 5 千円	教科書代	約 2 万円
交際費(外食等)	約 5 万円	その他	

合計: 約 65 万円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

とにかく日本とは治安が全く違うので、歩きスマホは厳禁ですし、荷物などにも常に細心の注意を払ってなければなりません。服装に関しては特に何も感じませんでした。若い人たちは結構派手でした。靴は石畳が歩きにくいのでヒールはおすすめしません。気温差が朝や夜と昼で大きく違う日が多かったので、温度調節ができるようないろいろなタイプの服があると便利だと思います。

#### D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

病院に行くことはありませんでした。学内の医療サービスは無かったように思います。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

何度か風邪は引きましたが、病院には行きませんでした。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

日本から簡単な風邪薬は持って行きました。風邪を引いた際に日本の薬を飲めたのは安心でよかったと思います。

## 【留学後：成果や今後の進路について】

### 1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

イタリアへの留学を終えて、自分が想像していた以上にイタリア語のスキルが身についたような気がします。イタリア語を全く知らない状態でイタリアに行きましたが、ナポリはほとんどの人がイタリア語しか話さないの、日常生活で使うのは断然英語よりもイタリア語でした。また、私が暮らしていたアパートも私以外の4人が全員イタリア人だったので、毎日ご飯を食べるときなどにイタリア語を聞く機会が多く、耳が慣れたというのも大きな理由かもしれません。最初はイタリア語がわからないことによって周りの人とコミュニケーションがうまくとれず、悲しかったり辛い思いをたくさんしましたが、結果的にイタリア語を聞いて何のことについて話しているのか分かったり、簡単なことは話せるようになって、半年間で得たものは大きいと強く感じました。

英語に関しては、授業以外で使うことが少なかったため、正直自分の能力が伸びたかどうかは分かりませんが、自分のレベルよりも高い授業に参加して、毎時間必死に予習復習を続けながら履修したことが成長につながったのではないかと考えています。

現地の人とコミュニケーションを積極的に取ることを留学の目標の1つにしていたのですが、日本語と英語を勉強しているイタリア人のルームメイトのおかげでたくさんの友達を作ることができ、様々な人と英語や拙いイタリア語を使ってコミュニケーションをとることができたのは本当に良い経験になったと思います。普段の生活が楽しかったのは、ルームメイトたちがみんな明るくて優しく、面白かったからだと思っています。親切なイタリア人の典型といえるくらい周りの人たちは優しかったので、普段の生活でさみしく感じることはほとんどありませんでした。

留学中はなるべく周りの日本人学生に頼らず、現地の人と関わることを心がけていました。日本人とずっと一緒にいることで自分が甘えてしまい、日本語ばかりを使ってしまっているのではないかと考えていたからです。もちろん日本人の友達もみんな親切でたくさん助けてくれたので仲良くしていましたが、普段はイタリア人とご飯を食べたり出かけたりすることが多く、実際にそれによって英語やイタリア語を話す機会も多かったと感じています。また、イタリア人と出かけたりすることで、イタリアの文化やナポリのことについてなども教えてくれたので学ぶことが多かったです。

留学を終えて、いかに周りの人々に恵まれていたかを実感しました。今までと全く違う環境で長期間暮らすというのは、自分にとって大きな挑戦であり、初めの方は挫折しそうになったこともありましたが、ひとりで抱え込まずに時には人に頼ることで楽になることはたくさんありました。周りの人と積極的に関わることで留學生活が本当に実のあるものになったと実感しています。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

授業以外にも、自主的にもっと英語を勉強できたらよかったです。授業の予習復習でいっぱいになってしまい。なかなか自分の勉強ができなかったので、時間の使い方を工夫すべきだったと感じています。また、留学前にある程度イタリア語を学んでから行けばよかったですと反省しています。最初に知識があれば留学中によりイタリア語を学びやすかったのではないかと思います。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

せっかくイタリア語を学んだので、さらに知識を深め、イタリア語検定を取得してみたいと思っています。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

イタリアに半年間留学してみて、文化の違いや治安の悪さに大変な経験もしましたが、イタリア人の優しさやイタリア文化の面白さに存分に触れることができました。授業に関しては、英語開講科目が他の国の大学に比べてかなり少ないので心配に思うこともありますが、少ない選択肢の中でも勉強熱心なイタリア人学生に囲まれて刺激を受けながら学ぶことができます。また、日本関連の授業や興味のある内容の授業には、イタリア語開講であっても参加すると楽しいと思います。予習復習は大変ですが、英語の授業だけだと1週間のうち学校に行く日がかかなり少なくなるので、積極的にいろいろな授業に参加してみるのも楽しいと思います。

1人でイタリアに行って生活することに対して不安がかなり大きかったです。周りのイタリア人や日本人の友達の優しさに触れて毎日とても楽しく生活できました。日本から遠く離れていることもあり、日本に帰りたいとか友達や家族に会いたいと思ったことは何度もありましたが、留学に来たことを後悔したことや、イタリアに来なければ良かったと感じたことは一度もありません。帰国して改めて考えてみても、イタリアを留学先として選択して本当によかったと思っています。留学前にはいろいろな不安があるかと思いますが、イタリアに留学すれば必ず素敵な友人ができて楽しく過ごすことができると思います。嫌なことがあっても忘れられるくらいに美味しいピザやジェラートが食べられるのもイタリアに来るのをおすすめしたい理由のひとつです。イタリアに留学することを迷っている方がいるのであれば、ナポリはあまり観光で訪れることのない都市であり、なかなか味わえない異文化を体験することができると思うので、私からは是非おすすめしたいです！